

窓口フロントヤード改革事業について



市民の窓口手続きの負担を軽減するため、マイナンバーカードを活用した「**書かない・待たない・回らない**」窓口を創設します。

デジタル技術により各種申請書類の作成作業の省力化を図るとともに、フロントヤード改革（ワンストップ化、事務室のレイアウト変更など）に取り組み、市民の利便性向上を図ります。

1. 窓口フロントヤード改革のイメージ

< 窓口手続きの一例 >

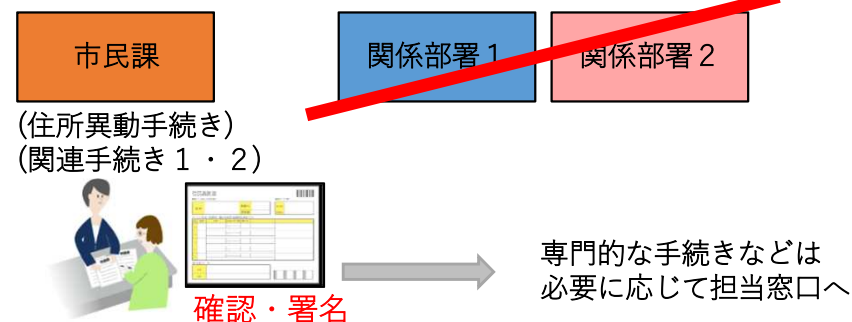
◆ 現状の窓口（課題）



- ・どこへ行けば良いのか分からない
- ・何をすれば良いのか分からない
- ・いくつもの窓口を回らなければいけない
- ・窓口のたびに申請書の記載が必要
- ・時間がかかる

フロントヤード
改革事業

◆ 改革後の窓口（目指すべき姿）



【**書かない**】職員が手続き内容を聞き取り申請書を作成（マイナンバーカード利用で更に簡単！）

【**待たない・回らない**】簡易的な手続きはワンストップ化

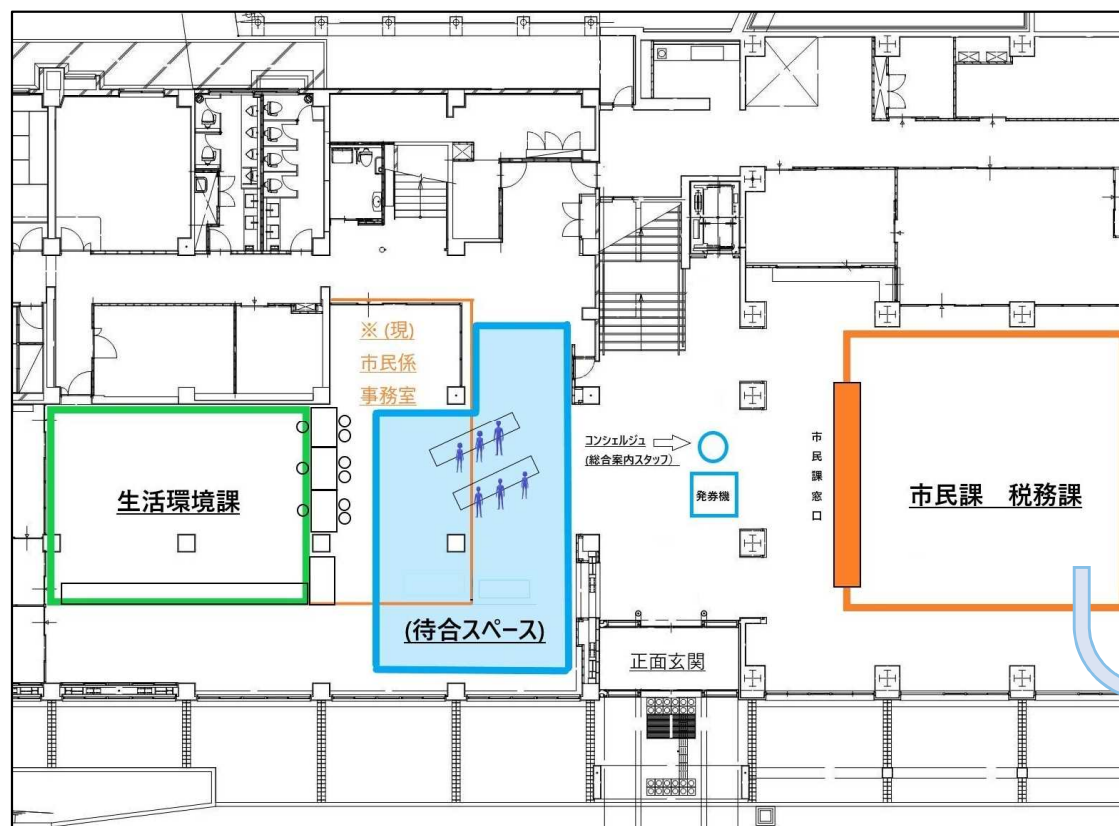
【**迷わない**】来庁者ごとの『手続き案内書』を作成

【**行かない**】コンビニ交付証明書の拡充

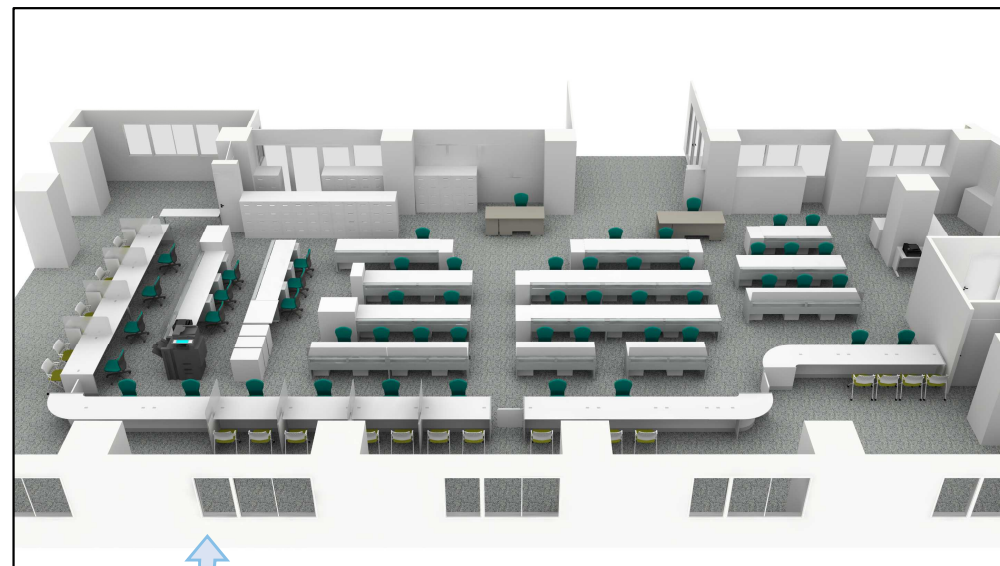
安心、分かりやすい、カンタン、早い！

※ご家族が亡くなった後の手続き、住所変更の手続きは時間を要するため大変！

2. 市役所本館1階レイアウト（案）



【市民課・税務課事務室レイアウトイメージ】



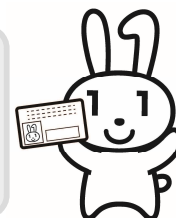
<主な変更点>

- (1) 現在西側にある市民係事務室を東側に集約し、窓口手続きのワンストップ化を図ります。
- (2) 市民係事務室が移設した後のスペースを待合スペースとして利活用します。

3. 今後のスケジュール

- ・レイアウト改修 令和6年9月～11月
- ・新窓口実装 令和7年3月（予定）

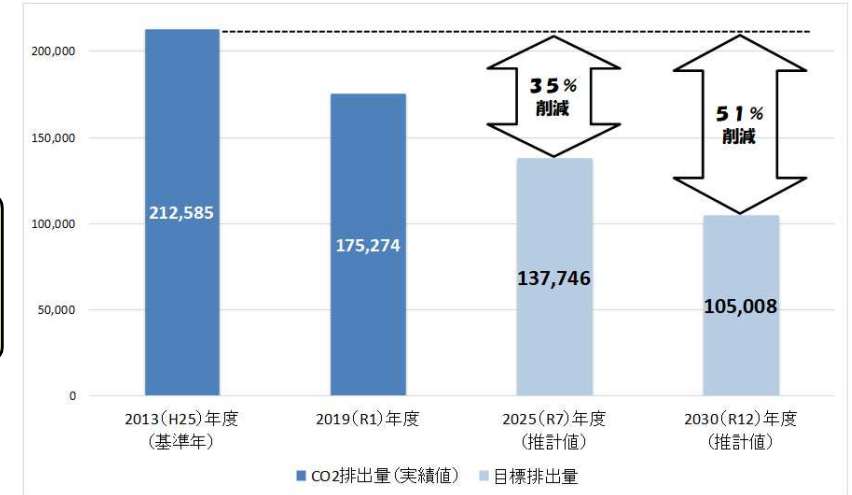
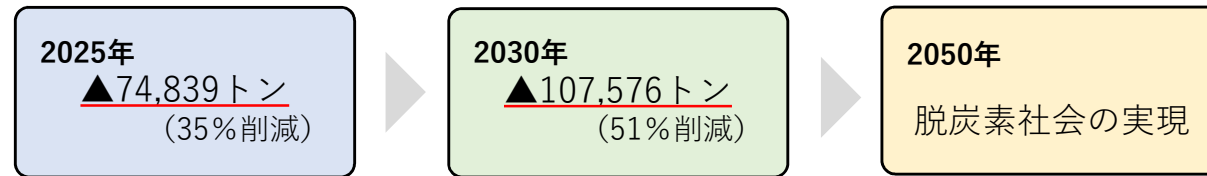
マイナンバーカードの活用により、行政手続きをより簡単にできる窓口を構築中です。
未取得の方は是非、カードの取得をご検討ください！



ゼロカーボン（脱炭素化）事業について

東御市では、東御市地球温暖化対策地域推進計画に基づき、二酸化炭素の排出量削減に取り組み、2050年までの脱炭素社会の実現を目指しています。

2013年度比で二酸化炭素排出量を…



1. 啓発活動の実施

小中学校でのゼロカーボン教室

▶長野県地球温暖化防止活動推進センター等と連携した環境学習の実施

- ・エアロバイクや手回し発電機、ソーラーカーなどの実験器具を用いた体験学習
- ・クイズを交えた現在の地球環境や温暖化問題に関する座学
- ・ゼロカーボン校内探索



ゼロカーボンイベントの実施

▶8月4日（日）親子で学べるイベントの開催を予定

- ・エコクッキング&ソーラークッカー
- ・環境マークでお買い物ビンゴ
- ・デジタル地球儀「スフィア」で知る地球の今
- ・EV自動車試乗

などを予定



各種広報活動

▶インターネット（ 유튜브 広告）を活用した広報



▶市民カレンダーでの広報
環境行動の参考に「ECOメモ」を掲載



2. 脱炭素関連補助金

【太陽光発電設備・蓄電池】

●一般住宅用

	補助金名	補助内容	補助率
1	太陽光発電システム等設置補助金 (太陽光発電設備 (重点対策加速化事業))	太陽光発電設備の設置	70,000円/kW(上限5kW 350,000円)
2	太陽光発電システム等設置補助金 (定置型蓄電池 (重点対策加速化事業))	上記の太陽光発電設備に附帯する 定置型蓄電池の設置	蓄電池価格の1/3 (上限 516,000円(10kWh相当)) ※諸条件あり
3	太陽光発電システム等設置補助金 (定置型蓄電池)	定置型蓄電池の設置 (附帯条件なし)	設置費の1/10以内(上限 100,000円)

●民間事業者用

	補助金名	補助内容	補助率
4	太陽光発電システム等設置補助金 (太陽光発電設備 (重点対策加速化事業))	太陽光発電設備の設置	50,000円/kW(上限100kW 5,000,000円)
5	太陽光発電システム等設置補助金 (定置型蓄電池 (重点対策加速化事業))	上記の太陽光発電設備に附帯する 定置型蓄電池の設置	蓄電池価格の1/3 (上限 1,266,000円(20kWh相当)) ※諸条件あり

【その他 脱炭素関連補助金】

	補助金名	補助内容	補助率
6	太陽熱高度利用システム設置補助金	太陽熱高度利用システムの設置 (強制循環型のもの)	1基あたり30,000円
7	木質バイオマスストーブ設置補助金	木質バイオマスストーブの設置	設置費の1/5以内(上限50,000円)
8	電気自動車購入補助金	電気自動車の購入	国の補助金の20/100(上限80,000円)
9	省エネ家電製品普及促進事業補助金	LED照明器具・電気冷蔵庫の買換え	LED: 市内本店 1/2 (上限15,000円) 左記以外1/4 (上限 5,000円) 冷蔵庫: 市内本店 1/5 (上限30,000円) 左記以外1/10 (上限10,000円)

地域計画（人・農地プラン）について

○法定化

令和5年4月に施行された農業経営基盤強化促進法等の改正によってこれまで取り組んできた人・農地プランは地域計画として法定化され、令和7年3月までに策定することとなりました。

○地域計画とは

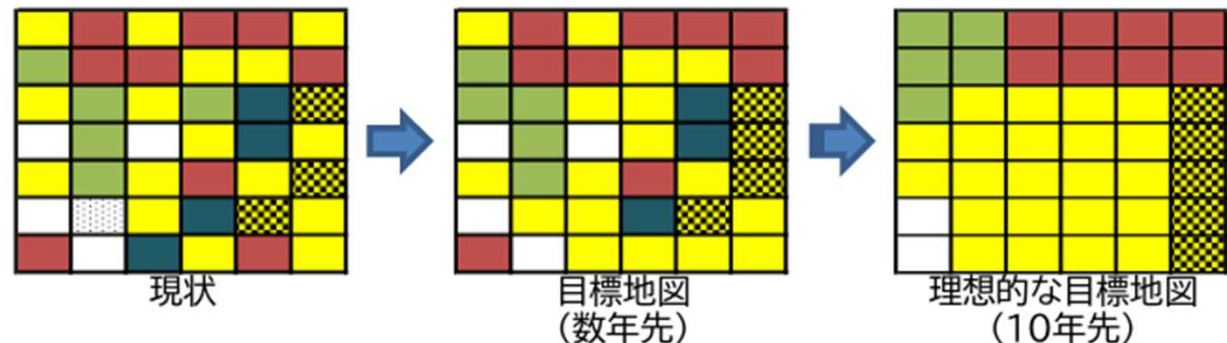
人と農地の問題を解決するための未来の設計図です。農業従事者が減少する中、10年後までに誰がどのように農地を使って農業を行っていくのかを地区の農業者・関係者の話し合い（協議）によりまとめる計画です。

地域計画＝地域農業の将来計画 ＋ 目標地図

○農地の集積から集約へ

地域として守るべき農地はどこかを明確にし、今後は、分散している農地を面的に集め、利用効率を向上させることが重要になります。

目標地図のイメージ…



地域計画の進捗と今後

- 令和5年度 各5地区で話し合いを実施(2回)
農業委員、農地利用最適化推進委員や中山間地域等直接支払交付金事業・多面的機能支払事業の各団体代表者等で構成。
- 令和6年3月～6月 農地の利用意向調査の実施
地域の担い手農家を対象に農地の利用状況及び将来的な農地の集積・集約希望を把握。
- 令和6年7月～12月 各5地区で話し合い(予定)
昨年度実施した話し合いの結果や意向調査の結果を基に、原案を作成し、話し合いを実施する。
- 令和7年3月までに 地域計画の策定・公表

令和7年度からは
目標地図≠事業完了ではなく、毎年、話し合い等を実施し、具体的な集約が実施され、
地域計画の実現に向けて取り組んでいきます。

デマンド交通「とうみレッツ号」へのAIシステム導入について



令和6年3月から、デマンド交通「とうみレッツ号」の運行システムにAIを導入し、運行の効率化と利便性の向上を図りました。

1 導入経過について

東御市公共交通活性化協議会において、利用実態の調査・分析や市民へのアンケート調査を実施し、調査結果から以下のとおり課題を整理しました。

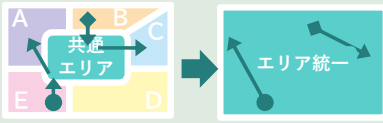
これまでの課題

運行エリア	市内5地区でエリア分けされ、 エリア間を移動する場合は乗り継ぎが必要 ⇒乗り換えの負担、乗車時間・待ち時間が長い
運行ダイヤ	基本時刻表による遠方部発・中心部発の 30分交互の運行(往復各8便) ⇒待ち時間が長い
予約方法	電話のみ(予約受付時間 8:00~16:00) ⇒予約できる時間が限られる
支払い方法	現金・回数券のみ ⇒決済手段が少ない
通知サービス	事前通知なし ⇒待ち時間がわからない、乗車忘れの発生

	AI導入前	AI導入後
運行台数	7台	5台
運行日時	平日午前8時30分～午後4時30分	
料金(片道)	300円 ※未就学児、介助者は無料	

AIの導入に伴い、さらに便利にご利用できるようになりました！

解決策

1	エリアが統一され、乗り継ぎが不要になり、乗車時間が短縮されました。	
2	方面固定のダイヤが廃止され、10分単位で予約が可能になり、待ち時間が短縮されました。	
3	スマホ・パソコンから24時間予約ができるようになりました。	
4	電子決済※でのお支払いができるようになりました。	
5	通知サービスが利用できます。	

本日は予約が入っています
あと5分で車が到着します

2 導入後の利用状況

AIシステム導入後の令和6年3月から5月までの3か月間で、**総利用者が5,149人、月別の平均利用者が1,716人、1日当たりの平均利用者は83人**となりました。

前年の利用実績と比較すると、**同期間の総利用者が241人増、前年度比5%の増加**となりました。

3 導入後の利用者の声

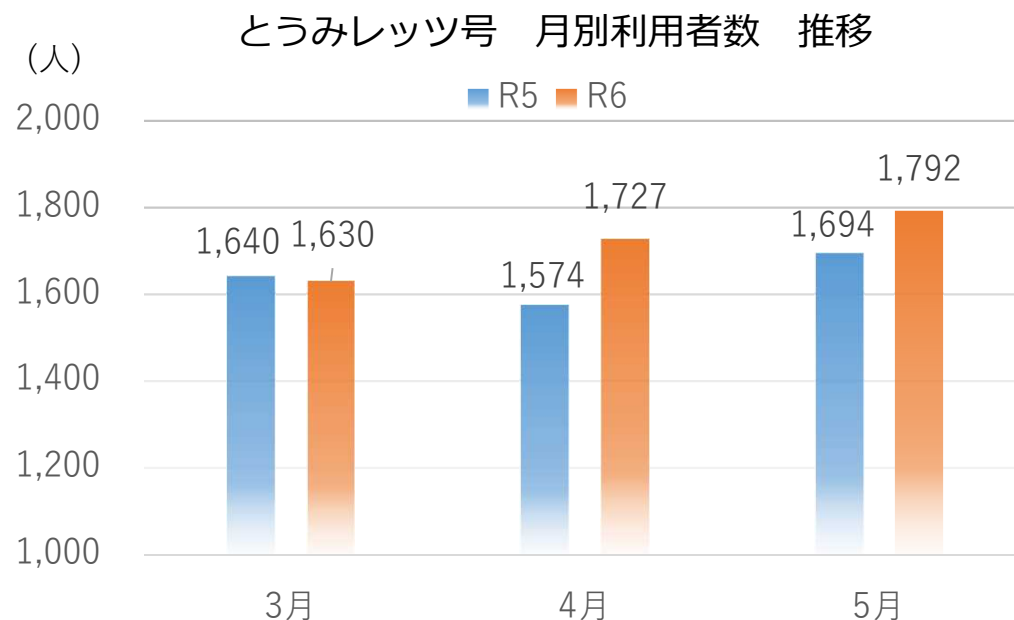
- ◎「乗り継ぎなしで市内全域を利用できるので便利になった。」
- ◎「以前は、次の便まで1時間ほど待たされたが、待ち時間が少なくなり、利用しやすくなった。」
- ◎「スマートフォンから24時間いつでも予約できて良い」
- △「正午前後の時間帯は、予約がとりにくい」

4 さらに利便性の向上に向けて

とうみレッツ号は、昼間の混雑等の運行課題の改善に向けて、現段階では、AIシステムにおいて利用データを蓄積しながら、配車順序や運行経路のパターン等の最適化を図っています。

今後、利用ニーズに合わせて、より良い運行システムを形成していくためには、AIの学習に必要な利用データの集積が重要となりますので、ぜひ積極的にとうみレッツ号をご利用ください。

また、現在、運行に係るアンケート調査を実施しています。詳細は市ホームページをご覧ください。



市ホームページ

東部地区小学校給食センター建設について

1 東部地区小学校給食室の現状

現在、東御市の学校給食は、東部地区の小学校4校・東部中学校1校の自校給食方式の給食室と北御牧学校給食センター（北小・北中）で運営しています。東部地区の小学校4校の給食室は、施設・設備が老朽化し、また、学校給食衛生管理基準を満たすことが困難であることなど、解決すべき問題が存在しています。

施設・設備の老朽化

東部地区の小学校4校の給食室は、設置から40年以上経過しているものもあり、施設・設備の老朽化が進んでいます。給食室の経年に伴う修繕のほか、調理器具の更新など、計画的に進めていますが、今後さらに増えることが予想されます。

衛生管理・アレルギー対応

東部地区の小学校4校について、食物アレルギー対応を行っている児童は50名を超え、食材の除去や代替食の提供などそれぞれの事情に合った対応をしています。栄養教諭や調理員といった人的環境は整備されていますが、学校衛生管理基準を満たした施設整備や、アレルギー対応専用調理室の整備のほか、調理器具等を分けるといった物的環境の整備が必要です。

施設・設備の更新費用

自校式給食を維持したまま各校の給食室を更新した場合、現給食室の解体、仮設給食室の設置及び新たな給食室の建設で2,757,900千円の費用が見込めます。
また、近年の少子化の中で、R22年の児童数は22.3%減少することが見込まれており、自校式給食室の整備では過剰な設備投資につながります。

【東部地区小学校給食室の現状】（R5.4.1現在）

区 分	田 中	滋 野	祢 津	和	北御牧 センター
建築年	H14年	S53年	S56年	S54年	H27年
築年数	改築後 築21年	築45年	築42年	築44年	築 8 年
面 積	300.12㎡	161.51㎡	166.42㎡	177.63㎡	556.75㎡
食 数	493食	270食	279食	338食	357食
床構造	ドライ方式	ウェット方式 ドライ運用	ウェット方式 ドライ運用	ウェット方式 ドライ運用	ドライ方式
炊飯形態	委託	委託	委託	委託	自校炊飯
アレルギー 調理室	無	無	無	無	有

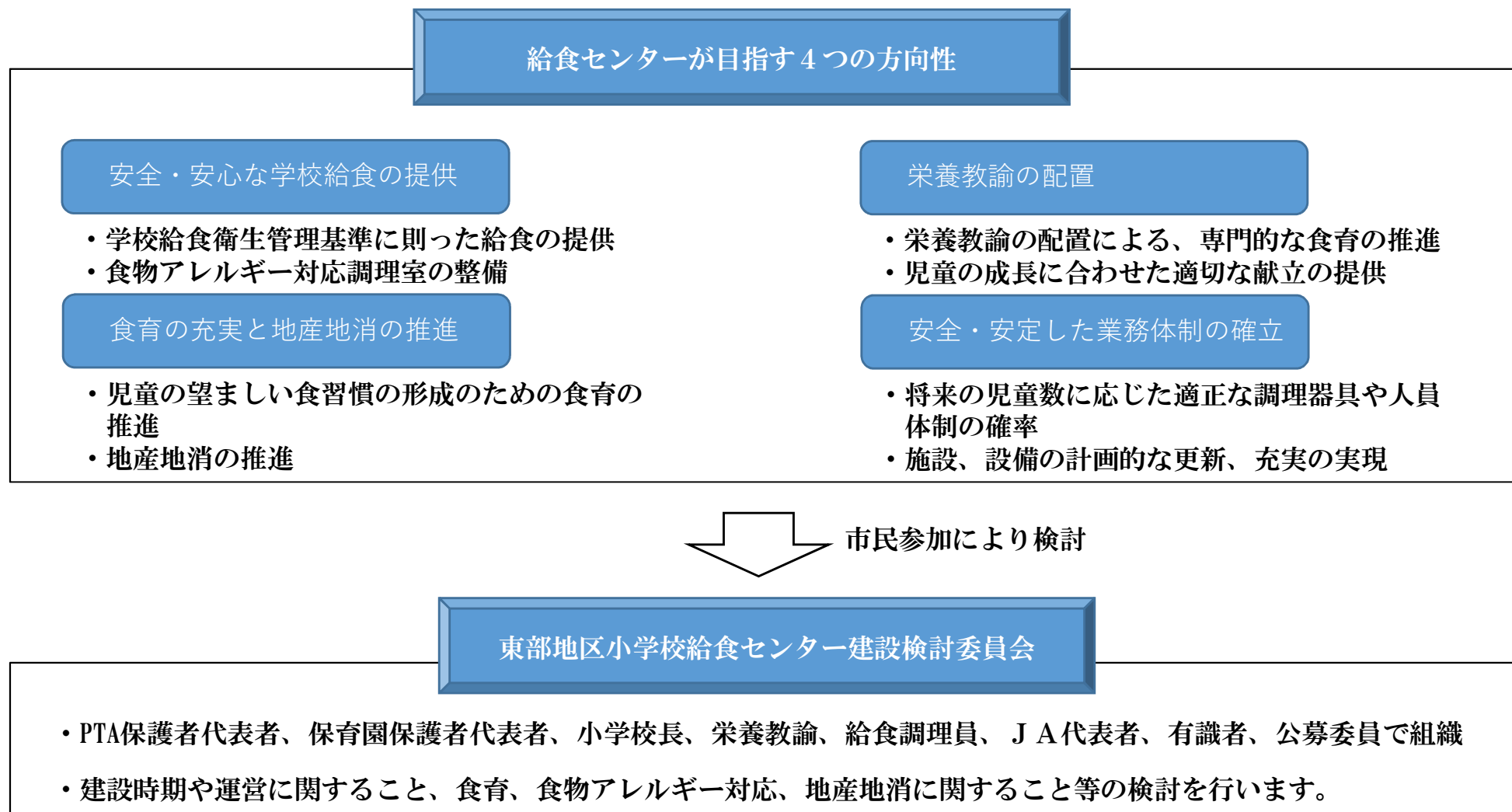
2 目指す施設整備計画

(1) 給食センター方式の検討

東部地区小学校4校を現在の自校給食方式のまま整備する費用と、1つの給食センターから小学校4校へ配送する給食センター方式に変更した場合の費用、また、衛生管理基準を満たす施設とした場合の必要面積の比較検討を行ったところ、費用対効果、面積確保の面から給食センター方式を採用することが望ましいと考えています。

自校方式必要経費 ・ 現給食室の取り壊し費用 ・ 仮設給食室の建設、取り壊し費用 ・ 新たな給食室の建設、調理器具費用 給食センター方式必要経費 ・ 施設予定地の土地購入費用 ・ 新たな給食センターの建設、調理器具費用 ・ 各校受入施設の改修、配送車費用		区 分	田 中	滋 野	祢 津	和	4 小学校 合計	給食 センター
		現面積 (㎡)	300.12	161.51	166.42	177.63	805.68	
		必要面積 (㎡)	720	420	420	560	2120	1600~1700
		現給食室 取り壊し (千円)	9,100	4,900	5,000	5,400	24,400	
		仮設給食室 (千円)	225,000	187,500	187,500	207,500	807,500	
		新施設建設等 (千円)	654,000	381,000	381,000	510,000	1,926,000	1,716,000
		小 計 (千円)	888,100	573,400	573,500	722,900	2,757,900	1,716,000
		土地購入 (千円)						土地購入費は 未定
		各校受入改修 (千円)						施設100,000 車両 24,000
		合 計 (千円)	888,100	573,400	573,500	722,900	2,757,900	1,840,000

(2) 給食センターが目指す姿



これまで自校給食が培ってきた長所を給食センター方式に活かし、PTA保護者や給食に関わる関係者などと、より良い施設のあり方を構築していきます

目指す姿 【自校給食に限りなく近い「学校給食センター」】

東御市発足20周年記念 主な事業

実施時期	イベント名	内容
8月3日（土）	雷電まつり	通常のイベントに加え、雷電為右衛門没後200年も併せてノベルティグッズの配布のほか、特別企画を実施します。
8月1日（木） ～9月1日（日）	チャレンジスポーツ エイト	昨年度をもって終了した『チャレンジデー』に代わり、市民が運動やスポーツを日常生活に習慣化するきっかけとして、概ね8月上旬から約一か月間、市民参加型の朝活（早朝のラジオ体操など）や日体大体操部との交流会など、様々なプログラムを実施します。
9月21日（土） 22日（日）	巨峰の王国まつり	通常のイベントに加え、巨峰の王国まつり30周年も併せてノベルティグッズの配布のほか、特別企画を実施します。
9月14日（土） ～11月24日（日）	特別記念展「東御の刀鍛冶」	東御市にゆかりのある刀匠たちにスポットを当て、刀剣をテーマとする展覧会を梅野記念絵画館にて開催します。
10月26日（土）	病院祭	市民病院開院30周年記念も併せて、病院事業の紹介や展示、講演会等を行います。
12月21日（土）	市民大学講座“知るを愉 ^{たの} しむ”	平昌五輪スピードスケート500mで金メダルを獲得した小平奈緒氏が、アスリートとして歩んだ道のりと苦楽、そこから学んだ生き方について映像を交えて語っていただきます。
2025年3月16日（日）	20周年記念コンサート	音楽という文化を身近に感じて楽しんでもいただくことを目的として、東御市出身の演奏者たちで構成された特別編成のコンサートを、サンテラスホールで開催します。

その他

火のアートフェスティバル（10月12・13日）や天空の芸術祭（10月19日～11月9日）などのイベントや講演会のさらなる充実を図り、市民の皆さんが東御市の魅力を改めて再認識できる事業も行っていきます。

また、シティプロモーションの観点から、上記事業をはじめとする各種イベントや行事の情報発信を強化するほか、“食”をキーワードとした首都圏でのPRイベント、NHK FM「民謡をたずねて」のラジオの公開収録（2025年2月8日）等を実施予定です。

とうみeなび



「とうみeなび」では、ご自身のスマホで、児童手当や介護保険などのオンライン申請、住民票や納税証明書などのオンライン請求、市公共施設の利用予約ができ、また、育児・当番医や生活に役立つ情報も見ることができます。ご自身のスマホにアプリをインストールしていただくことで、どなたでも簡単にご利用いただけます。

児童手当・介護保険申請

住民票・納税証明書請求

公共施設利用予約

日曜当番医情報

育児情報

etc...



▶アプリをダウンロードするには

Google PlayやApp Storeで「ライフビジョン」とキーワード検索してからダウンロードしてください。

右の二次元バーコードを読み取ると便利です。

※ダウンロードは無料です。本アプリのダウンロードおよびご利用には別途通信料がかかります。利用者の負担となります。環境や機器によって、一部または全部の機能がご利用いただけない場合がございます。

登録方法はとても簡単！
詳しくは裏面をご確認ください。



Androidをご利用の方
Google Play
で手に入れよう



iPhoneをご利用の方
App Store
からダウンロード

スマートフォンアプリ「ライフビジョン」をダウンロードして
住民総合ポータルアプリ「とうみeなび」にログイン!!



まずは右の
二次元バーコードを読み
取り「ライフビジョン」
アプリをダウンロード!

iPhoneを
ご利用の方
App Store
からダウンロード



Androidを
ご利用の方
Google Play
からダウンロード



※iOS端末は「App Store」から、Android端末は「Google playストア」で「ライフビジョン」と検索し、ダウンロードすることも可能です。

